



チェロ/渡邊辰紀



ピアノ/山田武彦

# 許可

## 二胡トリオコンサート 〜故里をこえて未来へ〜

シユイ・クウ

二胡/許可  
©Toru Shiozaki

許可の二胡は、東西の文化をつなぎ、故里の想いを未来へつなぐ。遙かな音楽の地平線から世界を歌います。

2021年3月20日(土・祝)

熱田文化小劇場

〈第一公演〉開演13:30(開場13:00)

〈第二公演〉開演16:30(開場16:00)

### 料金

#### 全指定席

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、客席定員を半数にしております。

一般 4,000円

友の会会員・障がい者 3,600円

※事業団友の会会員は前売りのみ  
※障がい者手帳等をお持ちの方(本人と付添いお一人様まで)  
※未就学児のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。

2021年  
1/19(火)  
チケット  
発売

主催 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [熱田文化小劇場]

共催 熱田区役所

### チケット取扱い・お問合せ

熱田文化小劇場 TEL052-682-0222  
(9~17時 日曜休館、3月16日以降は9~20時)

名古屋市文化振興事業団チケットガイド  
TEL052-249-9387(平日9~17時/チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する各文化施設窓口  
(市内各文化小劇場ほか)

チケットぴあ [Pコード191-904]  
TEL0570-02-9999  
セブンイレブンで直接お求めいただけます。

熱田文化小劇場は令和2年4月1日から令和3年3月15日まで、天井等落下防止対策工事のため、一時休館しておりました。

この度、リニューアルオープン記念公演として、世界的二胡奏者である許可氏にチェロの渡邊辰紀氏とピアノの山田武彦氏を加えた豪華なコンサートを開催いたします。心に響く音色を新しくなった熱田文化小劇場でご堪能ください。

## プログラム

G線上のアリア (J.S.バッハ/山田武彦)

ロマンス/ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ短調 作品22 第2楽章より (ヴィエニャフスキ/山田武彦)

ジョスランの子守歌 (ゴタール/山田武彦)

歌劇「カルメン」第3幕への間奏曲 (ビゼー/許可・山田武彦)

「シンドラーのリスト」のテーマ (ジョン・ウィリアムズ/奥定美和)

愛の挨拶 (エルガー)

思念/二胡とチェロ二重奏 (許可/王建民)

風韻/二胡とピアノ二重奏 (許可/王建民)

赤とんぼ (山田耕筰/奥定美和)

見上げてごらん夜の星を (いずみたく/奥定美和)

故郷 (岡野貞一/奥定美和)

いい日旅立ち (谷村新司/山田武彦)

上を向いて歩こう (中村八大/山田武彦)

川の流れのように (見岳章/山田武彦)

知床旅情 (森繁久彌/山田武彦)

※2公演ともに同プログラムです。

※曲目は変更する場合がございますので、ご了承ください。

## 許可(シュイ・クウ)/二胡



© Toru Shiozaki

中国・南京生まれ。1982年、国立中央音楽学院卒業、翌年、国立中央民族楽団の首席二胡奏者に就任。クラシックやジャズの奏法も研究し、楽器に独自の改良を加えるなど、二胡の可能性を飛躍的に広げた二胡演奏の第一人者で、ジャンルを超えた世界的アーティスト。

世界各地へ頻りに招かれ、カーネギーホールでのリサイタルや、ベルリン・フィルハーモニーとの共演等を成功させている。2001年「シルクロード・プロジェクト」アジア・ツアーに参加、ヨーロッパとの二重奏は台湾国営テレビで放送。日本でのオーケストラ共演も多く、これまでに日フィル、東響、東フィル、新日フィル、神奈川フィル等と共演。また、ユーミンとの共演で愛知万博やNHK紅白歌合戦に出演。「ミュージックフェア」「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「タモリの音楽は世界だ」等、テレビ番組にも頻りに登場。2008年以降、ベルリン・フィル弦楽五重奏団と何度も共演し、ベルリン・フィル音楽監督のサイモン・ラトル氏にも絶賛される。2015年のルクセンブルク国際音楽祭40周年祭で、ベルリン・フィル弦楽五重奏団と共演。2017年4月、ベルリン・ドイツ交響楽団とのレコーディングでは、二胡とオーケストラのためのオリジナル作品をはじめ、中国を代表する現代作曲家、陳怡、楊勇、周龍への委嘱作品を世界初録音、伝統音楽の神髄と現代音楽によるこれまでにない新しい中国音楽のサウンドを作り出した。

2018年3月放送のNHK BSスーパープレミアムドキュメンタリードラマ「蘇る太陽の塔“閉塞する日本人”へのメッセージ」の音楽担当。5月にはサウンド・トラックCD「黄沙古道～大地の詩(うた)」(XUALレコード)を発売。

中国では、国立中央音楽学院客員教授、上海音楽学院客員教授、国内では洗足学園音楽大学客員教授を務めている。東京・大阪にて許可二胡塾を開校。現在、日本と欧米を中心に活躍しながら、指導者としても多忙を極めている。

## 渡邊辰紀(わたなべ たつき)/チェロ



5歳より才能教育研究会にてヴァイオリンを始め、その後チェロに転向。日本人で最初のパブロ・カザルスの子弟、故佐藤良雄氏のもとで手ほどきを受ける。東京藝術大学附属高校からストレートで東京藝術大学に進学。在学中は優秀な学生に贈られる「安宅賞」を受賞するほか、日本音楽コンクールにも入賞する等華々しい成績を修め、ドイツへ留学。

ヒツツカ音楽祭で初演した新進気鋭の作曲家トビアス・PM・シュナイトのクラリネットとチェロとピアノのための[Cascando III]で「観客賞」を受賞。そのメンバーでTrio Cascandoを結成し、バイエルン放送、ドイツ放送等のFMに出演の他、ソロコンサートやオーケストラとの共演等、キャリアを積み重ねる。6年間の研鑽の締めくくりに、ドイツ国家演奏家試験でフリードリッヒ・グルダのチェロ協奏曲を演奏し、特別賞付きで合格。同時に北西ドイツフィルハーモニーにソロ・チェリストとして入団。10年間在籍し、「ドイツ国家室内楽演奏家」の称号を得る。

2006年夏、16年間のドイツ生活にピリオドを打ち完全帰国。東京フィルハーモニー交響楽団に首席チェリストとして入団。オーケストラのみならず、ソロ、室内楽と幅広く活躍中。また、内外のジャズフェスティバルで井野信義、高瀬アキ、山下洋輔、ニルス・ベデルセン等超一流ジャズミュージシャン達と共演する等、クラシックだけにとどまらない多彩な演奏活動は高く評価されている。

## 山田武彦(やまだ たけひこ)/ピアノ



東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(ブルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、Litinaire, Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。2004年より「イマジニヒタコンサート」音楽監督、2007年より「下丸子クラシックカフェ」ホスト役を担当するなど、ユニークなコンサートの企画にも参加している。これまで洗足学園音楽大学に於いて作曲及びピアノコース統括責任者を歴任、現在同大学教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。

2017、2019年に1カ月に及ぶロングラン公演の浅草オペラ100周年記念企画「ああ夢の街浅草」にて音楽監督を務め、全曲の作・編曲を担当、浅草「東洋館」にて上演を行う。

## 新型コロナウイルス 感染拡大防止のため のお願い

- ・マスク着用、手指消毒、検温にご協力ください。
- ・マスク着用のない場合、発熱が確認された場合は入場をお断りします。
- ・チケットの半券にあらかじめお名前・お電話番号をご記入ください。
- ・お客さま同士の安全な距離の確保にご協力ください。また、大きな声での会話はお控えください。

## 主催者の取り組み

- ・施設内は抗菌・抗ウイルスコーキング加工をリニューアルオープン前に実施予定です。
- ・空調システムを稼働し常時換気を行います。
- ・消毒液や体温計をホワイエに設置します。
- ・スタッフは検温の実施、マスクの着用、手指の消毒、うがい等を徹底します。

# 熱田文化小劇場 TEL 052-682-0222

名古屋市熱田区神宮3-1-15  
(熱田区役所・図書館等複合施設内)

J R JR東海道本線「熱田」下車 徒歩1分

地下鉄 地下鉄名城線「神宮西」下車 2番出口より東へ徒歩5分

名鉄 名鉄名古屋本線「神宮前」下車 西口から北へ徒歩8分

※劇場専用の駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

